• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	『ログラム Ver2.0 家庭医療専門医に必要な能力 2013.5.13 「必要な能力
診療と活動の場面	
外来医療	頻度の高い健康問題に対応し、相談にのり、適切な問題解決や安定化はかることができ、必要な専門家に紹介するこ ができる。
	できる。 健康問題は職器、年齢、性別によって制限されず、また生物医学的アプローチと心理社会的なアプローチをバランス
	く組み合わせた診断ができる。
	一般的な症候に対して適切な対応と問題解決ができる。
	頻度の高い外来急性期疾患について診断と治療ができる。
	頻度の高い慢性疾患のケアができる。
	各科専門医と協働して診療にあたることができる。
	救急外来において、重大な疾患を見逃さず、軽症救急全般及び中等症救急の一部を担当できる。 定期健康診断の実施と判定ができる。
	全年代にわたる必要なワクチン接種ができる。
	科学的根拠に基づいたスクリーニングができる。
	栄養、運動などの適切な生活習慣の提案ができ、必要な場合に行動変容のアプローチができる。
	健康な領域を患者とともに見出し、維持していくヘルスプロモーション活動ができる。
	継続的な医師患者関係の構築を診療の中心に位置づけることができる。
	患者及びその家族が、地域で生活していく上での、常に身近な保健・医療上の資源として自らを位置づけ、身近な「X みれっは、医機能も思わせてトギできる
	かりつけ」医機能を果たすことができる。 - 患者の考えや状態を代弁して専門家に伝える機能を持ち、診療へのアクセスの保証を行うことができる。
	患者のライフコースに沿ったケアを行うことができる。
	家族と地域の文脈・背景を考慮したケアができる。
	外来診療や慢性疾患管理のシステム構築ができ、診療の質改善のための活動を継続的に実践できる。
病棟医療	当該地域医療機関において入院頻度の高い疾患あるいは健康問題に対する診断と治療ができる。
	検査・治療手技は診療の場の状況に依存するが、頻度の高い一般的なベッドサイドの手技を実施できる。
	外来・在宅などと切れ目のない連携が必要な虚弱高齢者の入院ケアができる。
	併存疾患の多い患者の主治医機能をはたすことができる。
	心理社会倫理的複雑事例への対応とマネージメントができる。地域連携を活かして退院支援ができる。
	- 高及び非癌患者の緩和ケアができる。
	診断困難事例への対応ができる。
	安全管理、診断の質保証など、病院運営上のマネージメントができる。
	病院内医療者への教育活動ができる。
在宅医療	在宅医療に必要とされる老年医学的諸問題に対応できる。
	在宅急性期医療に必要な、アセスメント、入院適応の判断、予期せぬ臨死期の対応ができる。
	在宅緩和ケアに必要な、疼痛管理、疼痛以外の症状管理、スピリチュアルケア、悲嘆ケア、臨死期の対応ができる。
	在宅医療に関連した各種制度を理解・活用できる。 在宅医療に関連した倫理的判断ができる。
 地域・コミュニティ志向	
- 27	施設入居者の急性期の対応と入院適応の判断を、入院施設と連携して行うことができる。
型ケア	地域の保健医療上の必要性に応じて、医療活動を行うことができる。
	学校医業務ができる。
	産業医業務ができる。
	医療福祉に関する地域への啓発活動ができる。
	地域の優先度の高い健康管理問題を同定し、対策をたて、解決に資することができ、地域全体の健康度の向上に寄与 ***
	きる。 特定の健康問題をもった人口集団へのアプローチができる。
 数育・研究	診療の場に即して、自らの学習課題を設定し、自ら学ぶ、自己決定型学習ができる。
以月 1 切 元	生涯学習に必要な情報通信技術を使うことができる。
	診療の場で生じた疑問について、EBM 手法を利用して解決できる。
	診療で生じる予想外の出来事を振り返り、教訓を引き出し、次の学びや実践の課題を設定する省察的実践ができる。
	様々な専門家との人的ネットワークを構築し、対話するなかで学ぶことができる。
	医学部における卒前地域医療教育を担当できる。
	初期研修医の地域保健医療研修の指導医ができる。
	フィードバック技法などの、医学教育の基本手的な考えかたを応用実践することができる。
	多職種連携教育の原則に基づく共同学習を組織できる。
	プライマリ・ケアや地域医療における研究の意義を理解し、様々な形で協力・実践できる。
	│ 量的研究、質的研究双方の方法と特長について理解し、批判的に吟味でき、各種研究成果を自らの診療に活かすこと:

1	R庭医療専門医研修プログラムVer2.0 研修目標及び研修の場	プログラムでの研修設定 ◎:主たる研修の場 ○:従たる研修の場 学会推奨 ◎:主たる研修の場、○:研修可能な場)											
プログラム名:		総合診療	表専門研修 I 新/小病院)		事門研修Ⅱ 合診療部門)		救急科 他の領域別研						
Ι	- 般的な症候への適切な対応と問題解決		1										
	に示す症候すべてにおいて、臨床推論に基づく鑑別診断および、初期対応(他の 医へのコンサルテーションを含む)を適切に実施できる。	設定	学会推奨	設定	学会推奨	設定	学会推奨	設定	学会推奨	設定	学会推奨	設定	学会推
49-1 JI	ショック	0	0	0	0	0	0			0	0		
	急性中毒	0	0	0	0	0	0			0	0		
	意識障害 全身倦怠感	0	O	0	0	0	0			0	0		
	心肺停止	0	0	0	0	0	0			0	0		
	呼吸困難 身体機能の低下	0	<u></u>	0	0	0	0			0	0		
	不眠	0	0	0	Ö								
	食欲不振	0	0	0	0	0	0						
	体重減少・るいそう 体重増加・肥満	0	© ©	0	0 ©	0	0						
	浮腫	0	0	0	0	0	0						
	リンパ節腫脹 発疹	0	© ©	0	0	0	0	00	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0						
	発熱 認知能の障害	0	© ©	0	0	0	0	0	0	0	0		
	頭痛	0	Ö	Ö	ő	0	0	0	0	0	0		
	めまい -	0	0	0	0	0	0			0	0		
	失神 言語障害	0	0	0	0	0	0			0	0		_
	けいれん発作	0	0	ő	ő	0	0	0	0	0	0		
	視力障害・視野狭窄 目の充血	0	© ©					0	0	0	0	0	0
	目の充血 聴力障害・耳痛	0 0	0					0	0			0	0
	鼻漏・鼻閉	0	0					0	0			0	0
	鼻出血 さ声	0	∅∅									0	0
	胸痛	0	0	0	0	0	0			0	0	Ŭ	
	助悸	0	0	0	0	0	0		-	0	0		
	咳·痰 咽頭痛	0	© ©	0	0	0	0	0	0	0	0		1
	誤嚥	0	0	0	0	0	0		Ĭ	0	0	0	0
	誤飲 嚥下困難	0	© ©	0	0	0	0			0	0	0	0
	吐血・下血	0	0	0	Ö	0	0			⊘	0		
	嘔気・嘔吐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	胸やけ	0	© ©	0	0	0	0	0	0	0	0		-
	便通異常	0	0	Ö	ő	ő	ő	0	ő				
	肛門・会陰部痛	0	0	0	0	0	0						
	熟傷 外傷	0	© ©	0	0							0	0
	褥瘡	0	0	0	0							0	0
	背部痛 腰痛	0	© ©	0	0							0	0
	関節痛	0	0	0	0							0	0
	步行障害	0	0	0	0							0	0
	四肢のしびれ 内眼的血尿	0	© ©	0	0							0	0
	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	0	0	0	0							0	0
	乏尿・尿閉	0	0	0	0					0	0	0	0
	多尿 精神科領域の教急	0	0	0	0					0	0	0	0
	不安	0	0	0	0							0	0
	気分の障害 (うつ) 流・早産及び満期産	0	0	0	0							0	0
	女性特有の訴え・症状	0	0									Ö	ő
	成長・発達の障害	0	0					0	0				
以下 りなか る。 <u>※日</u> 験する	- 級的な疾患・病態に対する適切なマネジメント に示す一般的な疾患・病態について、必要に応じて他の専門医・医療職と連携をと 。適切なマネジメントができる。また、()内は主たる疾患であるが、例示であ いの疾患・病態群は90%以上の経験が必須だが、それ以外についてもできる限り経 いことが望ましい。												
(1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患 ※[1] 貧血 (鉄欠乏貧血、二次性貧血)	0	©	0	0	0	0	0	0	0	0		+
	[2]白血病		_	9	-	0	0	J	Ŭ	J	L Ŭ		
	[3]悪性リンパ腫 [4]出血傾向・紫斑病			0	0	0	0			0	0		
	[五] [[] [] [] [] [] [] [] [] [J	0	9	<u> </u>						
(2)神経系疾患									_	_		_
	※[1]脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血) ※[2]脳・脊髄外傷(頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫)	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	※[3]変性疾患 (パーキンソン病)	0	0	0	0	0	0					~	Ť
	※[4]脳炎・髄膜炎 ※[5] - 海州西海(周西海、豚門州西海、鮮森西海)			0	0	0	0	0	0	0	0		
	※[5]一次性頭痛(偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛)	0	0	0	0	0	0	0	0				
(3)皮膚系疾患												
	※[1]湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏性皮膚炎) ※[2]兼痒体	0	© ©	0	0			© ©	© ©	0	0	0	0
	※[2]蕁麻疹 ※[3]薬疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	※[4]皮膚感染症(伝染性膿痂疹、蜂窩織炎、白癬症、カンジダ症、尋常性ざ	0	0	0	0		_	0	0		_	0	0
	癔、感染性粉瘤、伝染性軟属腫、疥癬)		<u> </u>						l –				L
(4) 運動器 (筋骨格) 系疾患												
	※[1]骨折(脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折、橈骨骨折)	0 0	0							0	0	0	0
	※[2]関節・靱帯の損傷及び障害(変形性関節症、捻挫、肘内障、腱板炎) ※[3]骨粗鬆症	0	<u></u>	0	0	0	0			0	0	0	0
	※[4] 脊柱障害 (腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	0	0	J	Ĭ		Ĭ			0	0	0	0
<i>(</i> =													_
. 0) 循環器系疾患 ※[1]心不全	0	0	0	0	0	0			0	0		
	※[2]狭心症、心筋梗塞	0	Ö	Ö	Ö	0	0		_	0	0		
	[3] 心筋症 ※[4] 不整脈(心房細動、房室ブロック)	0	0	0	0	O	0	0	0	0	0		-
			0	0	0	0	0	0	0		₩		_
	[5] 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)	0	0			0							
	※[6]動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)	0	0	0	0	0	0	0	Ŭ				

(4) 中国	(0) 100	心思 了走来										i		
STEPRES - PRINTERS - NETHERS - NET			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
BILLIAN STATES														
STATEMENT STAT	塵肺)	0	0					0	0				
中日の原、			0	0					0	0				
17 18 18 18 18 18 18 18	*	[6]胸膜、縦隔、横隔膜疾患(自然気胸、胸膜炎)	0	0	0	0	0	0	Ŭ					
### 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		[/]肺癌	0	0	0	0	0	(O)						
A. 五世代表記 1974														
Self-New - Self-New			0	0	0	0	0	©			0	0		
新日の原産・日本元、日本元、日本元、日本元、日本元・日本元 日本元 日本元、日本元 日本元			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中部元、東田田田田	*	[3]胆嚢・胆管疾患(胆石、胆嚢炎、胆管炎)	0	0	0	0	0	0						
※日日原産品を 1987年 19	肝障	[4] 肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・ 慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性 害、薬物性肝障害)	0	0	0	0	©	©			0	0		
1	*	[5]膵臓疾患 (急性・慢性膵炎)							_					
日田田本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	*	[6]横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア)	0	0	©		©	©	0	<u> </u>	0	©		
日本語画の						,								
日本の日本学校の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の			0	0					0	0				
1 日の日本の日本会社 1 日本の日本会社 1 日本会社														0
日刊経帯の性 (日本版本、作品、工名の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の	*	(4) 泌尿器科的肾・尿路疾患(尿路結石、尿路感栄症、週店期膀胱)	0	0	0	9	0	0			0		0	0
日本の日本のアフィ (日本・京和本の日本の 1 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日													0	0
□ (1) 2 大田 東京 (1) 2 大田 東京 (1) 2 日本	*	[2]妊婦・授乳婦・褥婦のケア(妊婦・授乳婦への投薬、乳腺炎)	0	0										0
世代の祖本が母の名(作品を担格)			0	0									0	0
1) 国際工作・アを住在の「Yester (大田県田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			0	0	0	0							0	0
1) 国際工作・アを住在の「Yester (大田県田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	(10) 内	分泌・栄養・代謝系疾鹿												
Dispay		[1]視床下部・下垂体疾患 (下垂体機能障害)												
田川田田田田田 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			0	0	0	0								
世の語の近日後代世紀で成立 (本書 日本)	*	[4]糖代謝異常 (糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)					0	0						
1 日本教育機画														
日)日原産産 (2億、産産、支利)			Ů	- ŭ	ŭ									
※17) 海航原名 (アレルギー病験系)			0	0									0	0
① 日本日本 日本日	*	[2]角結膜炎(アレルギー性結膜炎)	0	0									0	0
13 接席・ 電産・ 日曜 年代とも報道をと 13											0	0		0
##119年度		[5] 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化												0
銀(1)中兵長 10 10 10 10 10 10 10 1	(12) 耳	鼻・咽喉・口腔系疾患												
※3 3アルドー性条件	*	[1]中耳炎							0	0				0
(13) 財産・設産・保護・保護・発達の代表的な実物							0	0	0	0				0
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														0 0
11金状神病		[3] 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・長道の代表的な共物	0	0					0	0	0	0	0	0
※2(1)指加度(アルコール条)、血管型)			0	_		0								0
※(1気分類等 ()つの傷、持つ傷)	*	[2]認知症(アルツハイマー型、血管型)	0	0									0	0
Side 大男童 (バニック度検育)														0
※(1) 年体表現性酵素、ストレス耐速障害 ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③		[5]統合失調症	0	0									0	0
※(13 不能産														0
※(1)ウィルス等級(インフルエンザ、麻疹、魚疹、木痘、ヘルベス、流行性 下皮疹、トリン ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③					0	0								0
※(1)ウィルス等級(インフルエンザ、麻疹、魚疹、木痘、ヘルベス、流行性 下皮疹、トリン ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	(14) 縣	染症												
# ※(2) 無理を設定(プドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア) (13) 結核 (4) 真菌療法権 (5) (15) 集疫・アレルギー疾患 (15) 集疫・アレルギー疾患 (17) 外種・大学的国子による疾患 (18) 無理・化学的国子による疾患 (19) 無理・化学的国子による疾患 (11) 無理・化学的国子による疾患 (11) 小型・大いギー疾患 (11) 無理・化学的国子による疾患 (11) 小型・大いギー疾患 (11) 小型・大い大・大き疾患 (11) 小型・大い大・大き疾患性疾患 (11) 小型・大い大・大き、コラン・大き疾患 (11) 小型・大い大・大き、コラン・大き疾患 (11) 小型・大い大・大きな患 (11) 小型・大い大・大きな患 (11) 小型・大い大・大きな患 (13) 大きな患 (15) 発生患者・(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 発生患者・(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 無性患者・(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 無性患者・(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 無性患者・(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 無性患者を験罪 (領癌、振術、失常、精竜) (17) ・大きな表情、発情、疾病、失常、精竜) (17) ・大きな表情、経過、素術、失常、精竜) (17) ・大きな表情、経過、素術、失常、精竜) (18) 無性患者疾病の栄養疾病障害	*	[1]ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性	0	0	0	0	0	0	0	0				
(3) 諸妹								-						
(15) 性感染症 (15) 強度・アレルギー疾患 ※(11) 無度病とその命性を(関節リウマチ、S L E、リウマチ性多免筋痛症、シェーゲレン症候群) (2) アレルギー疾患 (2) アレルギー疾患 (16) 物理・化学的因子による疾患 ※(11) 中毒 (アルコール、薬物) ※(2) アナフィラキシー (3) 環境要別による疾患 (熱中症、寒冷による障害) ※(4) 助解 (17) 小児疾患 (18) 無害がおの実験性の疾患 (19) 無害がおの失き性の患 (19) 無害がおの失き性の患 (19) 無難を患化 (19) 無性臓疾							0	0						
(15) 免疫・アレルギー疾患 ※(11部原病とその合併症 (関節リウマチ、S L E、リウマチ性多発筋痛症 シェーグレン症候群) (2] アレルギー疾患 (10) 物理・化学的因子による疾患 ※(11中毒(アルコール、薬物) ※(2] アナフィラキシー (3] 環境要因による疾患(除中症、寒冷による障害) ※(4) 小筋痛 (117) 小児疾患 (118) 加齢と老化 ※(1) 小児がれん性疾患 (118) 加齢と老化 ※(1) 小児がなん性疾患 (118) 加齢と老化 ※(1) 本院・表別 (118) 加齢と老化 ※(1) 無償の表質性障害 (118) 加齢と老化 ※(1) 無償の表質性障害 (119) 悪性腫瘍 (119) 悪性腫瘍 (119) 悪性腫瘍 (119) 悪性腫瘍 (119) 乳性腫瘍 (111) 小児が成務 (111) に対している (111) に対		[5]性感染症												0 0
※[1] 郡原東とか合併症(関節リウマチ、S L E、リウマチ性多発筋痛症、シンエーグレン症候群) (2] アレルギー疾患 ※[1] 中毒(アルコール、薬物) ※[2] アナフィラキシー (3] 遺類要因による疾患(熱中症、寒冷による障害) ※[4] 熱癌 (11) 小児疾患 (12) 小足が良患 (13) 加齢と老化 ※[1] 麻酔者の栄養摂取障害 (14) 児母は、大星、指療) (15) 無性臓療 ※[1] 麻酔者の栄養摂取障害 (16) 急に、大星、大傷、大星、指療) (17) 小児・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・							0	0	0	0				
(19) 報酬・化学的因子による疾患	(15) 免	疫・アレルギー疾患												
(16) 物理・化学的因子による疾患 ※[1]中毒(アルコール、薬物) ※(2]アナフィラキシー (3]環接関による疾患(熱中症、寒冷による障害) (41) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児がいれん性疾患 (11) 小児がいれん性疾患 (11) 小児がいれん性疾患 (11) 小児がいれん性疾患 (11) 小児がいれん性疾患 (11) 小児が明路療法 (11) 小児が明路療法 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (12) 児がいれん性疾患 (13) 小児疾患 (14) 小児疾患 (15) 先天性心疾患 (15) 先天性心疾患 (16)発達障害(自用症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (15) 無性直痛 (17) 小児が見解験 (18) 加齢と老化 (19) 悪性直痛 (19) の (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10)			0	0	0	0	0	0						
**(1)中毒 (アルコール、薬物) **(2)アナフィラキシー (3)環境要因による疾患 (熱中症、寒冷による障害) (3)環境要因による疾患 (熱中症、寒冷による障害) (4) **(4) 熱傷 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (12) 小児かけいれん性疾患 (12) 小児かけいれん性疾患 (13) 小児親国医染症 (14) 小児・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・			0	0	0	0	0	0	0	0				
**(1)中毒 (アルコール、薬物) **(2)アナフィラキシー (3)環境要因による疾患 (熱中症、寒冷による障害) (3)環境要因による疾患 (熱中症、寒冷による障害) (4) **(4) 熱傷 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児疾患 (12) 小児かけいれん性疾患 (12) 小児かけいれん性疾患 (13) 小児親国医染症 (14) 小児・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・関心・	(16) #=	理・化学的因子による疾患												
(3)環境要因による疾患(熱中底、寒冷による障害) ※(4)熱傷 (17) 小児疾患 (11) 小児疾患 (11) 小児がしたし性疾患 ※(21) 小児がしたし性疾患 ※(31) 小児細菌感染症 ※(4) 小児細胞 (*	[1]中毒(アルコール、薬物)			0	0								
※(4)熱傷 (17) 小児疾患 (17) 小児疾患 (17) 小児状かれん性疾患 (17) 小児がけいれん性疾患 (17) 小児がけいれん性疾患 (17) 小児がけいれん性疾患 (17) 小児がけいれん性疾患 (17) 小児がけいれん性疾患 (18) 小児・一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、			0	0	0	<u></u>			0	0				
① ① ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③			0	0		*	9	~					0	0
(11) 見けいれん性疾患 ※(21) 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水症、突発性免疹、インフルエンザ、RS、口母) ※(31) 小児細菌膨発症 ※(41) 小児喘息 (51) 先天性心疾患 (61) 免疫薬障害(自閉症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (18) 加齢と老化 ※(11) 高齢者の栄養性取障害 ※(12) 者性重痛 ※(12) 悪性重痛 ※(11) 風情対療剤の悪性腫痛 ※(1) 風情対療剤の悪性腫痛	(17) 小	児疾患												
ルエンザ、RS、口夕) ※(31)小児細菌原染症 ※(41)小児細菌 ※(41)小児細胞 (5)洗天性心疾患 (6)発達障害(自閉症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (18) 加齢と老化 ※(11高齢者の栄養摂効障害 ※(21名半症疾湃(訓験、転倒、失茶、褐瘤) ※(12) 基性臓瘍 ※(118時治療剤の悪性腫瘍 ※(11) 単性臓瘍 ※(11) 単性腫瘍 ※(11) 単性性腫瘍 ※(11) 単性腫瘍 ※(11) 単性腫瘍 ※(11) 単性性腫瘍 ※		[1] 小児けいれん性疾患							0	0	0	0		
※(3)小児細菌感染症 ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③			0	0					0	0				
[5]先天性心疾患 (6)発達障害 (自閉症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞) (18) 加齢と冬化 ※(1)高齢者の栄養抵取障害 ※(2)君を症候群 (訓練、転倒、失禁、褥瘡) (19) 悪性臓瘍 ※(1)理特治療剤の悪性腫瘍 ※(1)理特治療剤の悪性腫瘍 ※(1)理特治療剤の悪性腫瘍 ※(2) ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	*	[3]小児細菌感染症										_		
(18) 加齢と名化 ※(1)高齢者の業養摂取障害 ※(2)老年症候群(訓練、転倒、失禁、褐瘡) ※(19) 無性臓 療 ※(1) (18) 加齢と名化 ※(1) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (0	0							0	0		
※[1]高齢者の栄養摂取障害 ※[2]老年症候群 (誠感、転倒、失禁、褥瘡) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ (19) 悪性臓癌 ※(1)離精治療期の悪性腫瘍 ※ ⑥ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎			0	0							0	0		
※[1]高齢者の栄養摂取障害 ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	(18) ±n	幹と老化												
(19) 悪性関係 ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④	*	[1]高齢者の栄養摂取障害												
※[1]維持治療期の悪性腫瘍 ② ③ ③ ⑤ ⑤	*	[2]老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)	0	0	0	0								
				_										
													0	0
				Ŭ										

4 # 4 5 4 6 III - # 2 / E #			1		1			1	1	
Ⅲ 多様な診療の場に基づく医療 以下に示す診療を適切に実施することができる。	l						l			
以下に示す診療を適切に美胞することができる。 (1) 在宅医療										
在宅導入	0	0	0	0						
定期訪問診療	0	0	0	0						
臨時往診	0	0	Õ	Õ						
在宅看取り	0	0	ŏ	Ŏ						
E 0.5 W /										
(2) 地域包括ケア										
地域ケア会議(サービス担当者会議等)	0	0	0	0						
				Ĭ						
(3)保健予防活動										
各種ワクチンプラクティス (小児~成人まで幅広いワクチン接種計画と実施)	0	0	0	0		0	0			
各種スクリーニングと健康診断(健康診断と結果説明の実施)	0	0	0	0						
学校医活動	0	0				0	0			
(4)保健福祉施設へのメディカルサービス										
施設入居者の診療	0	0	0	0						
IV プライマリ・ケアの価値観に基づくジェネラリストアプローチ 以下に示すケアや活動を適切に提供・実践することができる。										
(1) 生物心理社会アプローチ										
患者中心の医療の方法などを用いながら、チームでアプローチし問題解決あるいは 安定化をはかった複雑事例など	0	0	0	0						
(2) 家族志向型ケア										
家族カンファレンスを実施した事例など	0	0	0	0						
(3)地域志向型ケア										
地域の特定の健康問題の解決に向けたプロジェクトの実施事例など	0	0								
(4) 医師患者関係と継続ケア										
(4) 医脚思者関係と無親ケア 継続的に診療することにより患者医師関係を強化し、なんらかの行動変容をもたら										
他続わた砂原することにより思省区印刷床を強化し、なんらかの11 刺炙谷をもたら した事例など	0	0	0	0						
(5) EBM										
生涯学習スキルとして、日常診療の疑問をEBMの手法をもちいて解決した事例など	0	0	0	0						
(6)プライマリ・ケア教育活動										
プライマリ・ケアの現場において学生、研修医、医師以外の医療者に対してなんら かの教育活動を行った事例など	0	0	0	0						
(7)プライマリ・ケア研究活動										
プライマリ・ケア関連の学会、研究会における発表等	0	0	0	0						